

# 防災講話を行いました

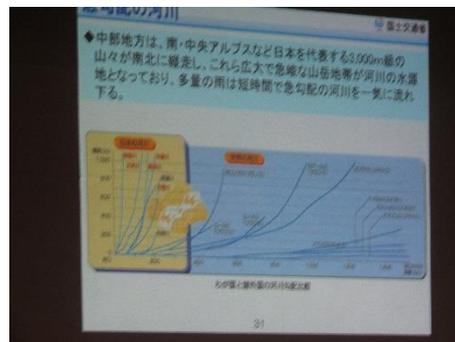
10/24(木)の7時間目に「災害から命を守るために」というテーマで、国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所より副所長の松原 充幸様を講師としてお招きして、防災講話を行いました。

地震、台風、大雨、噴火の過去の事例から、今後の災害とその対策についてお話をされました。その中でも特に稲沢市周辺の水災害について、洪水による浸水被害や南海トラフ地震の際の震度や液状化についての被害予測をマップで確認しました。杏和高校付近では大きな被害が予想されており、改めて災害が他人ごとではないということを感じました。

また、講演の中で以下のことを強調して話されていました。



- 自然災害は、決して他人ごとではありません。「あなた」や「あなたの家族」の命に関わる問題です。
- 行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。
- 行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。
- 避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。皆さんの命は皆さん自身で守ってください。
- まだ大丈夫だろうと思って亡くなった方がいたかもしれません。河川の氾濫や土砂災害が発生してからではもう手遅れです。
- 「あなた」一人ではありません。避難の呼びかけ、一人では避難が難しい方の援助など、地域の皆さんで助け合いましょう。行政も、全力で、皆さんや地域をサポートします。



教職員も生徒も共に、災害を自分事としてとらえ、自分の命は自分で守るということを再確認する貴重な時間になりました。